

ドイツ語の接続詞

主文と副文の使い分け

ドイツ語の文章をより豊かで自然にするためには、接続詞の正しい理解と使い方が不可欠です。接続詞は、単語、フレーズ、そして文と文をつなぐ重要な役割を果たします。特に、文の構造(語順)に影響を与えるものと与えないものがあり、その違いを理解することが大きなポイントです。

ドイツ語の文は、それだけで意味が完結する主文 (**Hauptsatz**) と、主文を補足説明する副文 (**Nebensatz**) から構成されます。このガイドでは、それぞれの文で使われる接続詞の基本的なルールと使い方を、例文とともに分かりやすく解説します。

1. 主文をつなぐ接続詞 (Hauptsatzkonjunktionen)

2つの独立した主文を対等な関係でつなぐ接続詞です。これらの接続詞は文の語順に影響を与えず、「ポジション0」と呼ばれます。つまり、接続詞の後に続く文は、通常の主文の語順(動詞が2番目)を保ちます。最も基本的な5つの接続詞を覚えましょう。

接続詞	意味	ドイツ語の例文	日本語訳
und	そして	Ich lerne Deutsch und ich höre deutsche Musik.	私はドイツ語を勉強していて、そしてドイツの音楽を聴きます。
aber	しかし	Das Wetter ist schön, aber es ist sehr kalt.	天気は良いですが、しかしとても寒いです。
oder	または	Wir können ins Kino gehen oder wir bleiben zu Hause.	私たちは映画に行くか、あるいは家にいることができます。
denn	なぜなら	Ich bleibe heute zu Hause, denn ich bin müde.	今日は家にいます、なぜなら疲れているからです。
sondern	そうではなく	Er kommt nicht aus Japan, sondern aus Korea.	彼は日本出身ではなく、韓国出身です。

ポイント (denn): denn は理由を表しますが、後述する副文接続詞の weil とは異なり、

主文の語順を変えません。

ポイント (sondern): sondern は、前の文が否定文 (nicht, keinなど) の場合にのみ使われ、「Aではなく、むしろB」という対比を明確に示します。

2. 副文をつなぐ接続詞 (Nebensatzkonjunktionen)

主文に従属する文(副文)を導く接続詞です。これらの接続詞が使われると、副文の中の定動詞(変化する動詞)は文末に移動します。これがドイツ語の文法における最も重要なルールの一つです。

時間を表す接続詞

接続詞	意味	ドイツ語の例文	日本語訳
als	～したとき (過去の一度きりの出来事)	Als ich ein Kind war, habe ich in Tokio gewohnt.	私が子供だったとき、東京に住んでいました。
wenn	～するとき (現在・未来・過去の反復)	Immer wenn ich Zeit habe, lese ich ein Buch.	時間があるときはいつでも、本を読みます。
während	～する間	Während ich koche, hört mein Mann Musik.	私が料理している間、夫は音楽を聴いています。
bevor	～する前に	Bevor ich schlafe, putze ich mir die Zähne.	寝る前に、私は歯を磨きます。
nachdem	～した後で	Nachdem ich gegessen hatte, habe ich ferngesehen.	食事をした後で(過去完了)、テレビを見ました(過去)。
seitdem	～して以来	Seitdem ich in Deutschland lebe, trinke ich viel Bier.	ドイツに住んで以来、たくさんビールを飲みます。

重要ポイント (**als vs. wenn**): 時間を表す「～のとき」では、als は過去の一度だけの出来事に使い、wenn は現在・未来の出来事や、過去に繰り返し行われた出来事に使います。これは多くの学習者が間違えやすい点なので注意しましょう。

理由を表す接続詞

理由や原因を示す副文を導きます。weil が最も一般的に使われます。

接続詞	意味	ドイツ語の例文	日本語訳
weil	なぜなら	Ich lerne Deutsch, weil ich in Deutschland studieren möchte.	ドイツで大学に行きたいので、ドイツ語を勉強しています。
da	～なので (文頭で使われることが多い)	Da das Wetter schlecht ist, bleiben wir zu Hause.	天気が悪いので、私たちは家にいます。

条件・譲歩を表す接続詞

「もし～ならば」という条件や、「～にもかかわらず」という譲歩の副文を導きます。

接続詞	意味	ドイツ語の例文	日本語訳
wenn	もし～ならば	Wenn du Lust hast, können wir morgen ins Museum gehen.	もし気が向いたら、明日美術館に行けますよ。
falls	もし万一～ならば	Falls es regnet, findet das Konzert nicht statt.	もし万一雨が降ったら、コンサートは開催されません。
obwohl	～にもかかわらず	Obwohl er sehr müde war, hat er weitergearbeitet.	彼はとても疲れていたにもかかわらず、働き続けました。

目的・様態を表す接続詞

「～するために」という目的を表す副文を導きます。主文と副文の主語が同じか違うかで使い分けが必要です。

接続詞	意味	ドイツ語の例文	日本語訳
damit	～するために (主語が異なる場合)	Ich erkläre es langsam, damit du es verstehst.	あなたが理解するために、私はそれをゆっくり説明します。
um ... zu	～するために (主語が同じ場合)	Ich fahre nach Deutschland, um Deutsch zu lernen.	私はドイツ語を学ぶためにドイツへ行きます。

dass と間接疑問文

dass は「～ということ」を意味し、文全体を名詞のように扱います。間接疑問文は、疑問文を別の文に埋め込んだ形です。

接続詞	意味	ドイツ語の例文	日本語訳
dass	～ということ	Ich weiß, dass du morgen Geburtstag hast.	私は、明日があなたの誕生日だということを知っています。
ob	～かどうか	Sie fragt mich, ob ich morgen Zeit habe.	彼女は私に、明日時間があるかどうか尋ねています。
W-Fragen	疑問詞	Er weiß nicht, wann der Zug ankommt.	彼は、その電車がいつ到着するのか知りません。

3. 文をつなぐ副詞 (Konjunktionaladverbien)

これらは厳密には接続詞ではなく副詞ですが、文と文をつなぐ働きをします。前の文の内容を受けて、因果関係や対比などを示します。これらの副詞は文の1番目の位置を占めるため、その直後に動詞が来ます (V2ルール)。

副詞	意味	ドイツ語の例文 (語順: 副詞 + 動詞 + 主語)	日本語訳
deshalb	だから	Ich bin müde, deshalb gehe ich früh ins Bett.	私は疲れています。 だから、早く寝ます。
trotzdem	それにもかかわらず	Es regnet, trotzdem gehe ich spazieren.	雨が降っています。 それにもかかわらず、私は散歩に行きます。
dann	それから	Zuerst esse ich, dann sehe ich fern.	まず食事をします。 それから、テレビを見ます。
also	つまり、だから	Ich habe kein Geld, also kann ich nicht ins Kino gehen.	私はお金がありません。 だから、映画に行くことができません。

4. まとめ

接続詞や接続的な副詞の使い分けは、語順のルールと密接に結びついています。

種類	役割	語順への影響	代表例
主文接続詞 (ポジション 0)	主文 + 主文	語順に影響なし (接続詞, 主語 + 動詞...)	und, aber, denn
副文接続詞 (従属接続詞)	主文 + 副文	動詞が文末に移動 (..., 接続詞 ... 動詞)	weil, dass, wenn
接続副詞 (ポジション 1)	主文。主文	副詞の直後に動詞 (..., 副詞 + 動詞 + 主語...)	deshalb, trotzdem, dann

この基本をマスターすれば、より複雑で表現力豊かなドイツ語の文章を作ることができるようになります。たくさんの例文に触れて、使い方に慣れていきましょう。